

## 若手教員のみなさんへ

### ～休校中の家庭学習について～

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県内でも多くの学校が休校となっています。

若手教員、特に初任者は、こうした状況の中で、不安なスタートを切ったことと思います。休校中の学校では、どう家庭学習の指導をすべきか迷っている若手教員も多いことでしょう。

オンライン学習に取り組んでいる県立高校もありますが、県内公立小中学校では、まだまだICT教育の環境が整っておらず、オンライン学習も広がっていない状況です。

しかし、心配することはありません。

岡山県の小中学校現場には、先輩教員が築き上げてきた家庭学習の財産があります。

それは、「自主学習」の実践です。

本県の小中学校は、平成27年に作成・配付された「家庭学習のスタンダード」を参考に、家庭学習は「宿題+自主学習」という共通理解のもと、全県を挙げて家庭学習の充実に取り組んできました。

結果、本県小学生の家庭学習時間は格段に伸び、基礎学力の確実な定着にもつながりました。



<https://www.pref.okayama.jp/site/16/451564.html>

家庭学習は「宿題」が基本であり、知識理解の定着には復習が重要です。それに加え、自ら学習課題を見い出し、学び続ける学習者を育てるためには、自分の苦手な問題を反復練習したり、興味・関心のあることを探究したりする「自主学習」も有意義な家庭学習の一つです。

とは言え、そのためには、適切な指導が必要です。自由に任せておくだけでは、自主学習の習慣や学び方は身につけません。そこで、指導方法を理解したり、実物の自主学習ノートを見る際、次のWebページが参考となります。

「家庭学習の充実に向けて」

([https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/616896\\_5208238\\_misc.pdf](https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/616896_5208238_misc.pdf))

3月以降、休校中も自主学習に取り組んでいる小学校があります。「これまで、本校で取り組んできた自主学習の習慣を継続することで、これから学習する内容の予習ができて子どもたちがいる。学び方が身につけていることは大きな成果だ」と語る校長先生もいます。

若手教員のみなさんには、ぜひ、校内の先輩教員から自主学習の実践を学び、自分の学級でも取組を進めてほしいと思います。今後、ますます進展するオンライン学習とともに、教科書やNHK for Schoolを活用した自主学習の充実が、多様な子どもたちの個別最適化された学びを支えることにつながります。

現在、県総合教育センターでは、来所による研修講座を見合わせ、e-ラーニングなどで代替していますが、大変な状況の中でも、子どもたちの学びを止めない実践を進めているみなさんの支援に取り組んでいます。

子どもたちのために、共に頑張っていきましょう。